



1.新技術を用いた取組

[＜事例リストに戻る＞](#)

事例番号	④-(1)
事例名	窓掃除ロボットの導入(試行)
自治体名	神奈川県藤沢市
導入時期	令和2年10月(試行)
取組の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の道路施設(エレベーター・エスカレーターの壁面・上屋、階段の上屋等)の清掃を行う場合、足場を組む必要があるなど、清掃が困難である箇所が多い。これらのガラス面の汚れが目立ち、都市景観が損なわれていた。
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の道路施設を自動で清掃するロボットを試行的に導入した。
内容	<p>[システム概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市販製品[※]を活用して、窓ふき清掃を行うものである。 <p>※特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを一つ押すだけで、自動で窓を清掃(クリーニングパッドに汚れが吸着)。 ・ 吸引ファン方式でロボットが窓に張り付くので、窓の厚さなどに関係なく1台のロボットで内側も外側も清掃が可能。 <p>[試行の経緯]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の窓掃除ロボットの情報収集、比較検討を行い、当市にとって最適と想定される製品の実機を用いてエスカレーターの壁面等で試行した。 <p>[活用状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試行の状況。
	 

<p>取組によって 得られた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試行段階のため、導入によって得られた効果は、今後、検証していくことになる。 ・ 現状では、従前に比べ、気軽に清掃を行うことが可能となり、都市景観が維持されることや外注費の削減を想定している。 ・ また、窓掃除ロボットを導入することで、駅前のポテンシャルをいかした活力創出や話題性等、まちの魅力にも相乗効果が期待できるものと考えている。 ・ 清掃を外注する場合、夜間作業となり、外注費が高額となっていた。窓掃除ロボットは、歩行者への配慮が必要であるが、日中でも作業が可能である。
<p>試行段階での 評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓掃除ロボットが稼働している際は、安全面から職員1名の常駐が必要と考えている。 ・ 外注した場合に比べて、コスト面では非常に安価になるものの、清掃の品質面では、外注(人の作業)の方がキレイに仕上がるものと捉えているため、状況に応じて、ロボットと人の作業とを使い分けていくことが望ましいと考えている。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 著しい汚れの場合、機械が正常に作動しないケースがあるため、どのように解決していくかという点が課題となっている。 ・ 屋外であるため、電源の確保が課題となっている(試行時は発電機を持参)。
<p>連絡先</p>	<p>神奈川県藤沢市 道路河川部 道路維持課 [電話番号 0466-25-1111]</p>